



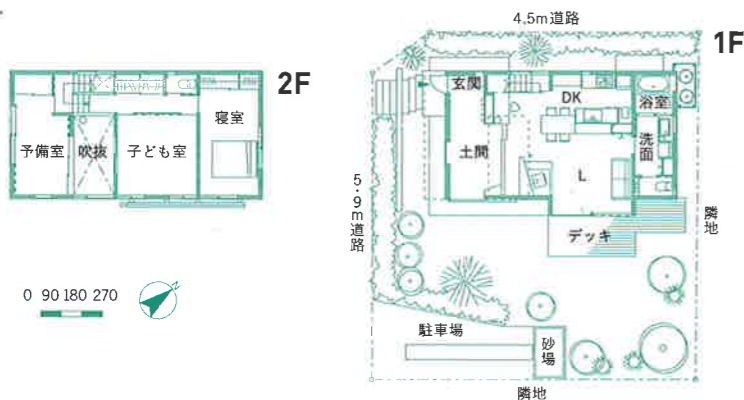
5. 夫が望んだもののひとつがこの「通り土間」。玄関とつながって広く、自転車のメンテナンスもできるし、子どもたちの遊び場にもなる。OMソーラーシステムのおかげで、冬も冷えにくい 6. 土間は、上に予備室があり天井は低いが、吹き抜けに面しているので閉塞感はない。リビングと土間を建具で仕切れるようにする案もあったが、結局は土間をワンルームの中に取り入れ正解だった



6

半分外みたいな土間は とても便利でぜいたくです

7. 「ダイニングテーブルからはテレビが見えないほうがいい」と夫。食事中は家族の会話が弾む 8. 薪ストーブはオーストラリア製の「PECAN（ピキャン）」。オープン付きのクッキングストーブで、ピザもあつという間においしく焼ける



DATA
敷地面積 / 211.14m² (63.98坪)
延床面積 / 109.69m² (33.24坪)
1階 / 57.20m² (17.33坪)
2階 / 52.49m² (15.91坪)
用途地域 / 第1種住居地域
建ぺい率 / 70%
容積率 / 200%
構造 / 木造軸組工法

設計 / 加藤武志(加藤武志建築設計室)
担当 / 森藤麻衣子
〒272-0035
千葉県市川市新田5-3-3
☎047-322-2132
施工 / みくに建築 ☎047-465-7131



1. LDKの片隅にはデスクコーナーが。夫の書齋としてつくったものだが、今は小学生になった長男の勉強机に 2. セミオープンスタイルのキッチン「動線が直線で短く、使いやすい」と夫妻 3. 浴室は、夫が選んだブルシャンブルーのモザイクタイルがリゾートの雰囲気 4. 昔の民家のように、土間の上がり框に腰掛けておしゃべりが始まりそう



2

**夫の夢がかなった
妻も納得のマイホーム**
夫は植林ボランティアの経験を通して、家を建てるなら自然エネルギーを取り入れたいと考えていた。太陽熱を暖房に利用するソーラーシステムの見学会に通い、ある住宅の空間に一目惚れ。設計者である加藤武志さんに、即日自宅の設計を依頼した。完成後に妻が「こんなに木がたくさんとは思わなかった」と驚いたほどたっぷり無垢の木と、漆喰の壁に包まれた家が完成した。通り土間はひと部屋つくれるほどのぜいたくな広さで、「家の中なのに外仕事ができるのがいいところ」と、夫のお

気に入るスペースになっている。趣味の自転車いじりができ、ベビーカーや子どもの遊び道具の置き場所としても好都合だ。土間とLDKは一体空間としてつながり、昔の民家のような大らかさがある。妻は当初この状況に戸惑ったが、今ではとても満足だ。「子どもたちが『たたいま〜』と帰ってくるので、すぐに顔が見えるのがいいんです。友人も玄関ではなく、庭から気軽に訪ねてくれて」。もうひとつ、夫が実現させた夢は、薪ストーブのある暮らしだ。「冬は朝、夫が火を入れ、私はそれを絶やさないように薪をくべます。このライフスタイルは、夫がいてこそのもですね」。



4



5. 玄関の横には、冬に備えたくさんの薪が積み上げられている。薪は知り合いの造園業者から伐採した樹木をもらえるそう。年4回ほどトラックで運び込み、1シーズン分の薪を確保する 6. デッキや庭が子どもたちのいい遊び場だ 7. 5年近く経ち、スギ板張りの外壁が味わいを増してきた。庭は、もともとあった木を生かしつつ新たな植栽をプラス。下草の植え込みなど、庭づくりは夫自ら行った



1. 2階の子ども室から1階を見下ろしたところ。吹き抜けを通して1階の様子がよく伝わってくる 2. 2階の廊下は、宙に浮いたブリッジのよう。スチール製のシンプルな手すりの、手の触れるところに木をあしらう心遣いがうれしい

PART 3 シンプル&ナチュラルな暮らし

通り土間と吹き抜けて家族の顔が見える家

千葉・八千代市 川城さんの家 家族構成/夫48歳 妻37歳 長男7歳 長女5歳 次男3歳 設計/加藤武志建築設計室

NO. 42



3. 土間の上部にある中2階の予備室からは、LDKが一望できるので、子どもだけで遊んでも安心感がある 4. 障子を閉めれば、独立した個室としても使用可能。親を呼び寄せる場合はこの部屋を使ってもらえることになる